

たわわ

TAWAWA

地域で生きる障害者を支える会通信

新2001年11月28日

17号

「地域で生きる障害者を支える会」会報

住所：横浜港北区下町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL045-562-3600

FAX045-562-5991



平成13年度 第2回 総会 報告

日 時 平成13年10月29日(月) 午後1時30分～

会 場 活動ホーム「しもだ」

出席者 21名

議事

1.「よつばホーム」事業経過報告について(承認)

入居者の様子

訪問看護ステーションとの連携

ホームヘルパー制度の利用

食事ボランティアについて

『今月のよつばホーム』を
ご参照ください。

2.「よつばホーム」設置費等会計報告について(承認)

3.「支える会」今後の活動計画(案)について(承認)

現代国際巨匠絵画展、重度重複障害者作品展の開催について

会 期 12月1日(土)～3日(日)

AM10:00～PM7:00(最終日はPM6:00閉場)

会 場 日石横浜ホール

主 催 地域で生きる障害者を支える会

共 催 障害者グループホーム「よつばホーム」

はるぶ A & I の今井さんに絵画展の詳細を説明して頂きました。絵画展という初めての取り組みであり、成功させるためにはどのようなことが必要か、ポイントを聞きました。

総会出席者は全員、実行委員になるということで、「私は100枚引き受けます」と次々と行って下さいました。心強い限りです。ありがとうございました。

(高畠 慶子)

☆ 会員の声 ☆

高畠勢津子さん、花岡佐千江さん、福田次郎くん、藤田博之くん！

10月からの港北区新吉田のグループホームでの共同生活にエールを贈りたいと思います。

思えば、高畠勢津子さん・花岡佐千江さんとは港北ふたば作業所(現ともだちの丘)で一緒だった頃からの付き合いで、20年にもなるのでしょうか。また福田次郎くん・藤田博之くんとは、よつばホーム(旧新)が、菊名のマンションで産声を上げた頃(12～3年前?)からの付き合いです。

人間誰しも、成人前後から一人生活、家庭生活(結婚しての)、仲の良い友人との共同生活等々形態は様々ですが、親元を離れたり、親兄弟の家に同居していても、自分の生活を作りたいとか、作らざる得ない状況が生まれてくると思います。

今度、グループホームという形態で、4人の皆さんは職員の方々等と同居して、共同した生活をする事になりました。

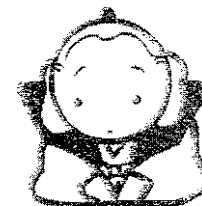
グループホームでの物理的・精神的に充実した快適空間を作っていくかは、中々大変なことだと思います。あせらず、健康に気を付けて、楽しい日常生活を送ってください。

私は、送迎ということで、4人の皆さんの昼間の生活の、若干のお手伝いしかできませんが、今後いろいろなことで、気軽に相談下さい。(石立 政文)

今月より会員の方々からの声を載せることになりました。

支える会、自分のこと、近況報告、好きなこと等、絵でも文章でも何でもOKです。

大原友子編集長より、声が掛かった時は二つ返事で
よろしくお願いします。



今月のよつばホーム

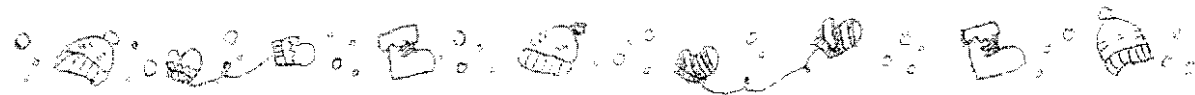
協同組合まつりに参加して

朝から今にも降り出しそうな、くもり空の中、今回はどれ位の売上だろうか。
 気にかかりながらの出店でした。

フリーマーケットに参加して10数年、近頃 街には安い品物が出回り、“まつり”には
 年々、人の出足も少なくなっているように感じます。「このままではいけない」と考
 えさせられた今回の出店でした。

雨の中、荷物の搬送、積み込み等、お世話になりました。また、品物を提供して頂
 き、ありがとうございました。

気になる売上は、54,380円(材料費等を除く)でした。(富岡 久子)



少し寒くなりましたが お元気ですか?

今年は、だいいな体験をしました。

友だちにさそわれて 鶴見の活動ホーム「幹」で 障害者の
 自立プログラムに参加したことです。

予定が重なって出られないこともありましたが 全部で13回
 の講座でした。

皆車イスの人です。私だけは 話が出来ず 文字盤をつかいました。

私は、はじめは少し しずんでいました。

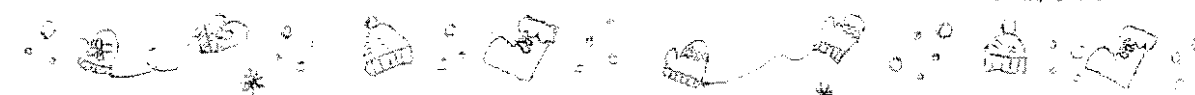
障害者の仲間の話は 聞いていてもはっきりわかりにくいし通訳
 してくれる人はいません。親もボランティアも時には 健常者の職員も
 参加出来ません。

ときどきは 講師も自立生活センターの 障害者の人でした。
 いつもの他の会では みんな、できるだけ たくさんの人に呼び
 かけたいのに この会は参加を障害者だけに制限していました。

でも この会では 私は、いつも出るたびに1つか2つは
 「ええー」とおどろく事や新しいことを聞いたり学んだりします。
 出来るだけたくさんの人に 理解してもらうということもだい
 じだけど 障害者だけで 話さなければならないことや 話した
 いこともあることを 知りました。

会が終わるとき これで参加していたメンバーとお別れするのは
 ざんねんと思いました。

大原友子



＊ 会員入会状況(平成13年11月25日現在) ＊ 新入会者紹介(鶴岡・新潟 地区) ＊

正会員	24名	[賛助]	＊清水 健志	＊門屋 佳子
賛助会員(個人)	131名	＊森山 弘	＊大澤 富美子	＊
賛助会員(団体)	4団体	＊石坂 文代	＊山田 進	
		＊岩永 美智彦(会員から賛助会員に変更)	＊	

よつばホームが完成し、入居してから、早いもので、もう2ヶ月がたちました。2ヶ月間
 あっという間でしたが、入居したての頃とは環境は色々と変わりました。

日常のなかでは、まず入居者の申請でホームヘルパー制度がつかえるようになりました。
 10月なかばからヘルパーさんが来てくれています。この頃では入居者とヘルパーさんお互
 いが顔と名前を覚えてきて、一緒にお茶を楽しんだり、自分の部屋のお掃除をお願いしたり
 しています。食事の介助や入浴の準備など、職員もたすかっています。

食事に関しては、現在2名の調理ボランティアさんが交代で夕食を作りに来てしてくれていま
 す。2人とも料理が上手でいつもおいしくいただいています。また、12月からはもう1人
 入ってもらう予定です。

医療面では、訪問看護ステーションの看護婦さんが2週に 1回来てくれています。血圧
 や脈拍、血中の酸素濃度を測ってもらったり、問診で体の気になるところを伝えて見てもら
 います。その他、職員だけではわからないことも相談にのってもらっています。入居者、職
 員ともにとても心強い存在です。

このような感じで、忙しくすぎていってしまった2ヶ月です。まだ落ちつかないような感
 じでもありますが、徐々に落ちついてくるとおもいます。皆さんがホッと息をつけるような家
 になってくれればいいと思います。

花陽の会(代表 三上園東巳様)より
 チャリティーコンサートの収益から
 21万円をご寄付いただきました。
 ありがとうございました。

次回、第4回会員懇談会は、
 日程が決まっています。
 前回は、絵画展についての
 話に終始しました。
 懇談会の今後の進め方等、
 何か、いいアイデアがあり
 ましたら、教えてください。

10月の報告

1日 サンヴァリエ日吉より
 グループホームへ引っ越し
 3日 サンヴァリエ日吉で
 お世話になった方々とお別れ会
 10日 よつばホーム開所式・内覧会
 25日 第3回会員懇談会
 29日 文える会総会

11月の報告

3日 協同組合まつり バザー
 5日 絵画展第1回実行委員会
 16日 絵画展第2回実行委員会
 26日 絵画展第3回実行委員会